

平成 29 年度学校評価

| | | | |
|----------------------|--|---|--|
| 本年度の 重点目標 | ① 健康で安全な生活を送る力を育成する。 ② 教育的ニーズに応じた授業力の向上を図る。 ③ 心豊かな生活を送る力を育む。 | | |
| 項目（担当） | 重点目標 | 具体的方策 | 留意事項 |
| 健康・安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の健康安全に対する意識を高め、定期的な点検、整備、指導を徹底する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策としてメール配信を有効に活用し、迅速に注意喚起を行う。 ・安全点検の徹底を図り、施設・設備の修繕箇所の早期発見に努め、飛散防止フィルムの貼付作業も計画的に行う。 ・食物アレルギーに対する危険性を周知し、学校行事等での事故防止に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な予防対策を徹底し、保護者及び事業所等にも情報を提供する。 ・危険箇所を把握し、迅速に処置するとともに、予防的な措置も進める。 ・学校行事、部活動等で飲食物の取扱いについて、職員への周知を徹底し予防に努める。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯に関する職員、児童生徒、保護者の危機意識を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回のシェイクアウト訓練を実施する。 ・不審者対応訓練を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地震災害を想定した訓練をとおして、揺れが収まるまで身を守るための基本的な行動を身に付けるようにする。 ・警察と連携した不審者対応訓練をとおして、より迅速で安全な避難行動及び対応ができるようにする。 |
| 保健体育 生活指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校を未然に防止する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学期に 1 度のアンケートを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・常に児童生徒の様子や家庭、地域からの情報を把握し、早期に対応できるようにする。 |
| 授業力向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・携帯端末機器の基本機能や、効果的な活用方法に関する理解を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・携帯端末機器の扱い方について職員研修を行う。 ・基本機能や、豊富なアプリケーションソフトについて紹介する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも取り扱うことができるような内容及び研修内容になるように配慮する。 ・研修資料をまとめ、いつでも閲覧でき、活用できるような環境を整える。 ・端末内の情報を整理し、扱いやすい環境になるように管理する。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・専門性を生かした授業づくりや授業改善を目指す視点での研修を設定し、計画的に実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究、現職研修、夏期研修等において、各部の教育的ニーズ等に応じた研修計画を立てる。 ・体験的、実践的な研修方法を取り入れ、専門性及び授業力の向上につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各部の教育的ニーズや直面する課題についての把握を行い、分掌間で連携を図りながら研修計画を立てる。 ・事前に職員へ研修内容の周知を行うとともに、事後アンケート等を実施し、研修の成果の確認や研修方法等の改善を行う。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態を正しく把握し、実態を反映した授業を実践する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の観察や保護者との話し合い等を通して、児童生徒の正しい実態把握に努める。 ・授業のねらいや目標を明確にし、担当職員間で情報を共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態把握と本人・保護者の願いから教育的ニーズを考え、個別の教育支援計画や個別の指導計画に反映する。 ・日々の授業実践で振り返りを行い、授業のねらいや児童生徒の成長や変化を確認する。 |
| 心の教育 教務 | <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学習や交流及び共同学習において、道徳的な目標をもって取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動全体で行う道徳教育の内容及び指導時期を見直し、整理を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・領域会や教科会、部会等を通して道徳教育について職員の理解啓発を図る。 ・道徳的な目標達成のための指導事例を職員間で共有し、指導に生かす。 |
| 学校関係者評価を実施する 主な項目 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校環境の基で健康で安全に生活を送る力を育成する。 ・共通理解された教育的ニーズに応じた授業を実践し、児童生徒の成長を図る。 ・体験的な学習活動等をとおして、心豊かな生活を送る力を育む。 | | |